

No. 306 平成29年2月5日発行

よっかいち 市議会だより

11月定例月議会号



芸術文化活動の場、生涯学習活動の場などの機能を持つ三浜文化会館（カルチャー三浜）が、平成28年12月にオープンしました。

《写真下：開館記念行事の様子》

11月
定例月議会

平成28年度 一般会計、特別会計、企業会計補正予算案や
農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定などを可決

目次

- ◎11月定例月議会の概要、日程……………2ページ
- ◎議案・請願の議決結果、賛否一覧、討論など……………2～3ページ
- ◎委員会審査の概要、予算常任委員会全体会審査の概要、
予算常任委員会分科会審査の概要……………4～6ページ
- ◎議案に対する意見募集、2月定例月議会の予定……………7ページ
- ◎一般質問……………8～15ページ
- ◎一般質問をした議員と項目……………16ページ
- ◎市議会モニターの募集、2月定例月議会の議会報告会の予定……………17ページ
- ◎8月定例月議会の議会報告会の概要……………18～19ページ
- ◎人事案件、意見書、委員会等の構成、市議会モニターとの意見交換会、
四日市市自治会連合会との意見交換会など……………20ページ



11月定例月議会の概要

四日市市議会は、11月定例月議会を11月29日から12月21日までの23日間の日程で行いました。

11月定例月議会では、平成28年度の一般会計、特別会計および企業会計の補正予算や、農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、議会の同意を得て市長が任命する委員の定数を定めようとする農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定についてなど、市長から提案された21議案を審議し、原案のとおり可決したほか、2件の人事案件に同意しました。

また、議員提出議案3件について、ロタウイルス胃腸炎予防ワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書の提出と、四日市市みんなのスポーツ応援条例の制定の2件について原案のとおり可決し、地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出については、委員会修正案を可決したほか、1件の請願を採択しました。

11月定例月議会の日程

11月29日(火)	初日(議案説明、報告、質疑)	16日(金)	予算常任委員会全体会
12月5日(月)	一般質問	21日(水)	最終日(委員長報告、質疑、討論、採決、追加議案説明、質疑、討論、採決)
7日(水)	一般質問		
8日(木)	一般質問		
9日(金)	一般質問、追加議案説明、質疑、委員会付託	12月23日(金)	議会報告会(産業生活、都市・環境)
12日(月)	各常任委員会／予算常任委員会分科会(総務、教育民生、産業生活、都市・環境)	24日(土)	議会報告会(教育民生)
13日(火)	教育民生常任委員会 都市・環境常任委員会	1月15日(日)	議会報告会(総務)

議案の議決結果

市長提出議案	議案名	議決結果	
議案第38号	平成28年度 一般会計補正予算(第6号)	原案可決	全員
議案第39号	平成28年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全員
議案第40号	平成28年度 食肉センター食肉市場特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員
議案第41号	平成28年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員
議案第42号	平成28年度 水道事業会計第1回補正予算	原案可決	全員
議案第43号	平成28年度 市立四日市病院事業会計第1回補正予算	原案可決	全員
議案第44号	平成28年度 下水道事業会計第1回補正予算	原案可決	全員
議案第45号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決	全員
議案第46号	市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	全員
議案第47号	市職員給与条例の一部改正	原案可決	全員
議案第48号	市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	原案可決	全員
議案第49号	市職員退職手当支給条例の一部改正	原案可決	全員

議案第50号	四日市地域総合会館あさけプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決	全 員
議案第51号	市立こども園条例の一部改正	原案可決	賛成多数
議案第52号	三泗鈴亀農業共済事務組合の解散に伴う承継事務の処理に関する条例の制定	原案可決	全 員
議案第53号	農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定	原案可決	全 員
議案第54号	工事請負契約の締結 ー児童発達支援センターあけぼの学園移転整備造成工事ー	原案可決	全 員
議案第55号	近鉄四日市駅南自転車等駐車場及び近鉄四日市駅北自転車等駐車場等施設の指定管理者の指定	原案可決	全 員
議案第56号	市道路線の認定	原案可決	全 員
議案第57号	工事請負契約の締結 ー霞ヶ浦緑地テニス場整備工事（建築工事）ー	原案可決	全 員
議案第58号	工事請負契約の締結 ー霞ヶ浦緑地テニス場整備工事（建築電気設備）ー	原案可決	全 員
議案第59号	教育委員会委員の任命	同 意	全 員
議案第60号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意	全 員

議員提出議案	議 案 名	議決結果	
発議第12号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出	修正可決	全 員
発議第13号	ロタウイルス胃腸炎予防ワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書の提出	原案可決	全 員
発議第14号	みんなのスポーツ応援条例の制定	原案可決	全 員

修正案等	議 案 名	議決結果	
発議第12号 委員会修正案	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出	可 決	全 員

議案の賛否一覧表

※ 議案について、賛成、反対の双方あった場合のみ、表示しています。

会 派 議 員 名	議 決 結 果	賛 反 ： 成 対	新風創志会					リベラル21					政友クラブ					公明党				市民会議			日本共産党										
			石川善己	荻須智之	谷口周司	豊田政典	早川新平	平野貴之	三木隆	諸岡覚	加納康樹	竹野兼主	中森慎二	樋口龍馬	藤田真信	村山繁生	森川慎	伊藤嗣也	小川政人	川村幸康	笹岡秀太郎	中村久雄	日置記平	森康哲	荒木美幸	伊藤修一	中川雅晶	樋口博己	山口智也	小林博次	土井数馬	三平一良	太田紀子	加藤清助	豊田祥司
議案番号																																			
議案第51号	原案可決	29：3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

※ ○は賛成 ×は反対 ※ 議長（川村幸康）は採決に加わらない。



【 討 論 】 採決の前に議題となっている案件に対し、自己の賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

議案第51号 討論（反対）

本議案は、幼保一体化園として運営している塩浜西保育園と塩浜幼稚園を認定こども園とするものであるが、一定の評価を得ている幼保一体化園を効果検証がなされていない認定こども園とすることに疑問がある。また、認定こども園は、保育園と異なり、施設と利用者の契約

に基づいており、市の公的責任を後退させるものと考ええる。さらに、新年度入園の募集は、塩浜西保育園、塩浜幼稚園のそれぞれで行い、募集も終了していることから、拙速に条例改正する必要はない。以上の理由から本議案に反対する。
（豊田祥司議員）

請願の議決結果

請 願	件 名	議決結果	
請願第 5 号	ロタウイルス胃腸炎予防ワクチンの接種費用の公費助成を求めること	採 択	全 員

委員会審査の概要

常任委員会における条例の制定、一部改正や契約を締結しようとする議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

総務常任委員会

- ◆ 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正、市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正、市職員給与条例の一部改正、および市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について、委員からは、本市が過去に人事院勧告に準じなかったことはあるのか、また、他自治体の対応はどうかとの質疑があり、担当部局からは、都道府県等では、独自で人事委員会を設置しており、人事院勧告と異なる対応を行うこともあるが、本市においては、過去から人事院勧告に準じた対応を行っているとの回答がありました。
- ◆ 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について、委員からは、70歳以上の議員が被保険者になる場合の取り扱いが不明であるとの意見や、非常勤である議員が厚生年金制度になじむのかとの意見があり、これに対し他の委員からは、いずれも、今後、地方議会議員の厚生年金加入の検討を行う際に議論を行うものであると考えるとの意見がありました。正副委員長により作成された修正案について、委員からは、民主主義の根幹をなす議会に、より良い人材が集まるための土壌づくりは必要である。また、原案への加筆により、市民の理解を得ることの必要性が加味されたことから、修正案に賛成するとの意見がありました。

教育民生常任委員会

- ◆ 市立こども園条例の一部改正について、委員からは、平成28年6月の教育民生常任委員会協議会において、すでに両園について平成29年度より認定こども園とする方針が示されていたにもかかわらず、議案の提出が現段階となったのはなぜか、新年度入園の募集を開始する前の8月定例会議会において提出すべきではなかったのかとの質疑があり、担当部局からは、6月には、公立幼稚園適正化計画の素案の中で、両園を認定こども園としていく方向性を説明したが、その段階では政策決定まで至っていなかった。また、8月定例会議会での当議案の提出には時間的余裕がなく、11月定例会議会での提出となったものである。しかし、新年度入園の募集の際には、入園を希望する児童の保護者に、今後の予定について説明を行っているとの回答がありました。
- ◆ 霞ヶ浦緑地公園にテニスコートの整備を行うための建築工事および建築電気設備に係る工事請負契約の締結に関して、委員からは、各テニスコートについて、車いすテニス等で利用できるようなバリアフリー仕様となっているのか、また、点字ブロックについては整

備しているのかとの質疑があり、担当部局からは、メインコートは観客席の設置の関係で低い位置にあるため、固定観客席からスロープを使ってコートへ降りられるようにしているほか、固定観客席に車いす用の席を数席設けている。サブコートも同様に観客席からスロープでコートに入れるようにしており、屋外テニスコート及び屋根付きテニスコートについては、それぞれ通路にスロープを設置し、コートに入れるように設計している。また、点字ブロックについては、現段階で、クラブハウス施設内の案内用に設置する予定であるが、障害の程度によっては点字ブロックがあることによって、^{つまず} 踏く危険もあるとの意見も聞いているため、様々な意見を聞きながら、設置基準に従い整備を行いたいとの回答がありました。

産業生活常任委員会

- ◆ 四日市市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について、委員からは、農業委員および農地利用最適化推進委員の任期がいずれも3年であるため、全員が新しい委員となる可能性があるのかとの質疑があり、担当部局からは、応募の状況次第ではそのような委員構成となる可能性もあるとの回答がありました。他の委員からは、議案に対する市民意見募集では、農業委員および農地利用最適化推進委員の合計数が国の制度改正前よりも増加することについて、本市の行財政改革に逆行するのではないかと意見が寄せられており、このような意見に対し、行政としてどのような考え方を持っているのかとの質疑があり、担当部局からは、委員定数は国の基準によるものであるが、今後はそれぞれの委員の役割を明確化し、農業委員は今後の農業のあり方等政策的な議論を行う。また、農地利用最適化推進委員はより現場に密着し、農地の集約化を推し進めるなど、体制の強化を図ることで強い農業を作り、本市の農業が目指すべき姿を実現していきたいとの回答がありました。

都市・環境常任委員会

- ◆ 近鉄四日市駅南自転車等駐車場及び近鉄四日市駅北自転車等駐車場等施設について、平成29年度から5年間の指定管理者を指定しようとすることにに対し、委員からは、指定管理者の募集内容を問う質疑があり、担当部局からは、指定管理を行う駐輪場の管理およびレンタサイクル事業と合わせて、放置禁止区域における放置自転車等の巡視撤去・保管返還業務を附帯業務として募集しており、指定管理者の候補者の選定にあたっては、委託する附帯業務も含めた価格での評価を

行っているとの回答がありました。さらに委員からは、指定管理業務ではない附帯業務部分も含めた提案価格での評価を行うことは、法的に問題はないのかとの質疑があり、担当部局からは、指定管理施設の空きスペースを活用して放置自転車対策事業を附帯業務とす

ることを前提とした募集要項を選定委員会が審査・承認した上で募集し、指定管理者の候補者を選定している。他に同様の事例もあり、庁内の関係部局とも協議した結果、違法性がないことを確認しているとの回答がありました。

予算常任 委員会 審査の概要

予算の審査については、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の各分科会で、おのの所管に属する予算について詳細な審査を行った後に、予算常任委員会の全体会において各分科会がそれぞれの審査の経過と結果の報告を行い、必要な事項については全体会で審査しました。全体会および分科会における主な意見等の概要をお知らせします。

予算常任委員会全体会

- ◆ 全体会においては、委員から全体会審査すべきものとして追加提案された事項もなく、平成28年度一般会計補正予算第6号、平成28年度国民健康保険特別会計補正予算第3号、平成28年度食肉センター食肉市場特別会計補正予算第1号、平成28年度介護保険特別会計

補正予算第1号、平成28年度水道事業会計第1回補正予算、平成28年度市立四日市病院事業会計第1回補正予算、及び、平成28年度下水道事業会計第1回補正予算の7議案について、いずれも別段異議はありませんでした。

予算常任委員会分科会

総務分科会

- ◆ 市政情報等提供番組制作業務委託について、委員からは、委託先はどのように選定しているかとの質疑があり、担当部局からは、公募型プロポーザルにより委託先を選定しているとの回答がありました。さらに委員からは、番組は手話対応に加え、字幕対応になったとのことであるが、限度額はいくら増額されたのかとの質疑があり、担当部局からは、従前は、月3本の番組のうち、字幕を入れたほうが分かりやすい番組を1本選び、字幕対応を行っていたが、当該債務負担行為からは、全ての番組に字幕を入れるような仕様とした。なお、本年度の予算1540万円に対し、今回の限度額は1820万円となったが、この増額には、手話通訳経費の増額も含まれるとの回答がありました。
- ◆ テレメータシステム保守点検業務委託について、委員からは、テレメータシステムによる河川水位、雨量の計測データに基づき、警報や注意報を発表するのかとの質疑があり、担当部局からは、当該計測データは、市が避難の判断に用いている。一方、注意報や警報は、津地方気象台が四日市市における雨量等の基準に基づいて発表するとの回答がありました。

教育民生分科会

- ◆ 中央老人福祉センター管理運営業務委託費および西老人福祉センター管理運営業務委託費について、委員からは、平成31年度を目途に両老人福祉センターのあり方について、費用対効果を含め総合的に検証することだが、この時期には存廃も含めて結論を出すのかとの質疑があり、担当部局からは、老人福祉センターを取り巻く環境は、その開設時から大きな変化があり、近年では、地域包括ケアシステム構築など、在宅での医療・介護を進めるという社会的背景もあることから、その見直しが必要となる。また、指定管理から直営とすることで毎年事業の柔軟な見直しが可能となる。全体としては平成31年度を目途に、当施設について、大きな方向性を出したいと考えているとの回答がありました。
- ◆ 病児保育室整備事業費について、委員からは、現状では病児保育室の配置バランスが悪いのではないか、また開設予定の病児保育室以外にも、病児保育事業の実施の申し出はあったのかとの質疑があり、担当部局からは、病児保育室の設置に当たっては、市内の配置バランスについても考える必要があり、今後もアン

ケート調査等を行う中でニーズを把握し、次にどの地域に設置をすればよいのかも検討したい。また、病児保育の実施について、市内で地域型保育所を開設する法人より申し出はあったが、正式なものではない。カンガルームや新たな病児保育室の運営はいずれも小児科医が行っているが、当法人は小児科医ではなく、内科医等まで対象を広げるのであれば、小児科医会とも協議の上、市として政策的な決定が必要である。病児保育室の増設や、事業対象の拡大を行うのであれば、子ども・子育て支援事業計画に位置付けた上で進めていきたいと考えているとの意見がありました。

産業生活分科会

- ◆ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助金について、委員からは、本補助金はTPPを見据え、畜産・酪農の収益力強化を目的としているが、酪農への対策はどのように行っているのかとの質疑があり、担当部局からは、市内酪農事業者の代表者と意見交換を行っており、今後も協議を継続していきたい。なお、今回の補助金は肉用牛農家を対象としており、関係者と協議を行いながら、計画的に実施していくとの回答がありました。これに対し委員からは、協議のみで終わらず、行政としてもよい流れが生まれるように呼び水となるような方策を事業者とともに考え、早期に対応を図るべきであるとの意見がありました。
- ◆ 透析室他改修事業費について、委員からは、がん治療の3大治療法は、手術療法、化学療法、放射線治療であるが、市立四日市病院では化学療法を選択する患者が増加しているのかとの質疑があり、担当部局からは、平成29年4月の高精度放射線治療棟供用開始に伴い、これまで他院に通院していた患者も当院にて受診可能となるため患者数の増加が見込まれる。また、高精度放射線治療と化学療法を組み合わせた治療が可能となり、将来的に増加を見込んでいるとの回答がありました。これに対し委員からは、高齢者にとって術後の負担は特に大きい。基幹病院としてよりよい性能の病院を目指し、手術ではない治療法を含めて術後の生活の負担をより軽減できる治療を目指してもらいたいとの意見がありました。

都市・環境分科会

- ◆ 都市美化事業費について、委員からは、路上喫煙の禁止に関する条例が平成28年12月1日に施行されたのにあわせて、整備する4カ所の喫煙所の清掃等管理業務を委託するにあたり、どの程度の清掃業務を行うことを想定しているのかとの質疑があり、担当部局からは、業務委託の仕様については、1日1回、灰皿にたまった吸い殻を回収して水を替えたり、喫煙所周辺の掃き掃除を行うといった清掃業務を考えているとの回答がありました。
- ◆ 水道施設における24時間体制での防犯対策に係る機械警備保安業務について、委員からは、具体的な委託内容を確認したいとの質疑があり、担当部局からは、水道施設は、飲料水を扱う重要施設と位置付けており、37カ所の対象施設に設置する赤外線センサーが反応した場合、水源管理センターと委託先に通報が入り、委託先の市内巡回パトロール中の警備員が速やかに現場に駆けつけて状況を確認し、水源管理センターに報告するとともに、状況により警察に通報するとの回答がありました。
- ◆ アンダーパス保安管理業務および地下ポンプ場設備保守点検業務に関して、委員からは、アンダーパス（交差する鉄道・道路等の下を通過し、周辺より低くなっている道路区間）における大雨時の通行規制等の保安管理業務と、排水に必要な地下ポンプ場の保守点検業務について、これらの業務を委託する箇所の選定理由と今後の考え方を確認する質疑があり、担当部局からは、ポンプ場の保守点検を行う12カ所については、主要国道等の幹線道路に対して市道が掘り下がっているような構造で雨水がたまりやすい箇所を選定し、また、保安管理を行う4カ所については、交通量や利用状況等を勘案して選定しており、現時点で委託する箇所数を増やすことは考えていないが、降雨の状況や周辺環境の変化などに応じて今後の検討は必要であると考えたとの回答がありました。

市議会ホームページについて

市議会では、市議会ホームページにおいて本会議や代表質問・一般質問の会議録、議案や議決結果、文書質問の質問書と答弁書、議会日程、議会報告会などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

ホームページのアドレス <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>

各定例月議会における議案に対するご意見の募集について

重要な議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。11月定例月議会で実施した主なご意見の概要は、次のとおりです。いただいた全ての意見は市議会ホームページに掲載しています。

- ◆四日市市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定（議案第53号） 4件
 〈意見〉議案について賛成である。農業の問題は沢山あって市議会にて議論を重ねてもらいたい。（特別委員会を設置）。一番の問題は、米生産者の経営が成り立たないことである。農機具、肥料等を考えると赤字経営である。国やJAに任せておくのはよくない。農業委員の意見も聞きながら四日市市独自の農業政策は打ち出せないものかと思う。
 〈意見〉国レベルで農業改革が叫ばれている状況下で条例の内容は疑問を感じる。国の定める法律に背くことは出来ないが、許された範囲内で改革をすることは出来る。例えばせっかく農業委員の数を減らしているのに新設された農地利用最適化推進委員を37人も置くのは、どこに

改革の気持ちが入っているのか理解に苦しむ。出来ることなら2つの役割を合せて1人の委員が持つとか、何か工夫することにより全体の人数を削減する方法を検討する余地はないのか。

◆土木災害復旧事業費（河川復旧）（補正予算）

5件

〈意見〉米洗川の羽津地区護岸被害復旧及び北小松町排水路土砂撤去について、早急な工事实施を是非お願いしたい。

〈意見〉羽津地区の住民であるので速やかに機能復旧をしていただく事は喜ばしい事である。台風で崩壊した場所を早く復旧してもらう事を希望する。

2月定例月議会については、2月6日（月）に市議会ホームページ（<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>）に議案および議案資料を掲載し、2月23日（木）までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

2月定例月議会の予定

（日程は都合により変更する場合があります）

2/10(金) 初日	午前10時	16(木) 予算常任委員会全体会	午前10時
20(月) 代表質問	午前10時	21(火) 予算常任委員会全体会(予備日)	
21(火) 代表質問／一般質問	午前10時	24(金) 最終日(委員長報告・採決)	午後1時
22(水) 一般質問	午前10時		
23(木) 一般質問	午前10時	28(火) 議会報告会(教育民生、産業生活)	午後6時30分
24(金) 一般質問	午前10時		
27(月) 一般質問・追加議案・議案質疑・委員会付託	午前10時	29(水) 議会報告会(総務、都市・環境)	午後6時30分
28(火) 各常任委員会／予算各分科会	午前10時		
3/1(水) 各常任委員会／予算各分科会	午前10時		
2(木) 各常任委員会／予算各分科会	午前10時		
3(金) 各常任委員会／予算各分科会	午前10時		
6(月) 各常任委員会／予算各分科会(予備日)			
10(金) 予算常任委員会全体会	午前10時		
13(月) 予算常任委員会全体会	午前10時		
14(火) 予算常任委員会全体会	午前10時		
15(水) 予算常任委員会全体会	午前10時		

※すでに終了している委員会は、3/6、21は開催しません。
 ※代表質問、一般質問の模様をCTY122ch（サブチャンネル）で放送する予定です。

※本会議の模様は市議会のホームページで生中継し、その映像は、後日録画中継として配信します。

※各常任委員会の模様はUstreamで生中継し、YouTubeで録画中継もご覧いただけます。市議会のホームページからご覧ください。

一般質問から

一般質問は、定例月議会が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずねるものです。

11月定例月議会は、21人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット議中継」または「会議録（次の2月定例月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

地場産業

萬古焼の陶祖、沼波弄山生誕300年祭に向けて



リベラル21
村山 繁生

議員 ぬ なみろうざん 沼波弄山を陶祖として歩んできた萬古焼であるが、平成30年には、沼波弄山生誕300年を迎えることとなる。萬古焼業界では、歴史の重みを感じ、陶祖弄山があつて今があるんだとの感謝の気持ちも込め、BANKO 300thと銘打って、生誕300年祭事業を計画している。産業観光やシティプロモーションの一環として全国に発信するチャンスだと考えるが、本市の対応はどうか。また、県や朝日町、菰野町など広域的な連携も必要だと考えるがどうか。

商工農水部長 生誕300年という節目を捉えて強く情報発信できる機会と認識しており、平成30年に向け市内外に積極的に情報発信を行いたい。また、広域連携の推進は重要であることから、県をはじめ関係自治体と連携して、情報発信の取り組みに努めたい。

議員 BANKO 300thは、生誕300年を記念し、萬古焼をさらに100年先200年先へと向ける大義ある事業との認識を持ち、積極的に支援すべきと考えるがどうか。

商工農水部長 これまでも普及啓発や後継者育成などの振興につながる支援を行ってきたが、生誕300年祭事業については、実行委員会で議論している具体的な企画内容を踏まえ、効果的に支援できるよう検討してまいりたい。

市長 先人の思いや伝統を大切にしながら、新たな発展を遂げられるよう、シティプロモーションの中で効果的な支援をしていきたい。



全国への情報発信の充実が望まれる（沼波弄山肖像画）

生活困窮者対策

本市の子どもたちを貧困から救え



リベラル21
森川 慎

議員 平成25年国民生活基礎調査によると、子どもの相対的貧困率（※）は16.3%と過去最悪で、ひとり親家庭では54.6%となっている。本市の子どもたちの貧困の現状はどうか。

こども未来部長 本市では、ひとり親家庭の世帯数や児童扶養手当受給世帯数、就学援助児童・生徒の割合、子どもがいる生活保護世帯数により、子どもの貧困状況の把握を行っている。近年は全体として横ばい状態で推移している。

議員 子どもの貧困への市の対策はどうか。

こども未来部長 ひとり親家庭に対し、求職活動の支援や国家資格等の取得に係る給付金の支給、家庭生活支援員の派遣、児童扶養手当の支給および医療費の助成を行っている。

健康福祉部長 生活保護世帯の小中学生に対し、生活費とは別に教育費を支給しており、平成27年度からは中学生を対象として無料で学習する場を提供し、学習支援を行っている。

教育長 就学費用の一部援助やスクールソーシャルワーカーの派遣を行っている。また、地域による学習支援として、現在3つの中学校区で、地域子ども教室を立ち上げており、今後、他中学校区にも活動が広がるよう支援をしたい。

議員 子どもの貧困問題の解決に向けて、今後も各部局における取り組みを推進してほしい。また、本市における貧困の実態をより正確に把握するため、市独自でアンケートを行うなど相対的貧困率の調査を実施するよう求める。

※ 等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人数の平方根で割ったもの）が全人口の中央値の半分を下回っている人の割合

場外馬券売場

場外馬券売場新規設置について本市の考えを問う

リベラル21
藤田 真信

議員 西新地に設置計画のある場外馬券売場について、設置反対の地元住民からは、施設周辺の風紀の乱れへの懸念や青少年の健全なる成長や育成に負の影響が考えられるなどの声を聞く。また、他市の場外馬券売場では、外れ馬券等ごみの散乱や、路上での座り込み、駐停車の増加などの状況がみられている。現在、共同地区の22自治会、育成会等各種団体の11団体が設置反対を表明している。場外馬券売場設置の反対署名も1カ月あまりの間に6,363名集まっている。反対運動は共同地区だけでなく、この数年間で公営ギャンブル関連施設設置計画が本市や近隣市町に頻発している事実を踏まえ、市全体の問題であるという考えが広がりを見せてい

る。場外馬券売場を本市に設置すべきではないと考えるがどうか。

商工農水部長 場外馬券売場を西新地に設置・運営しようとする事業者から地元自治会や商店街に対して説明があり、地元としてもそれぞれの立場から賛否両論の意見が出ていると聞いている。現段階では主催者や事業者から本市への具体的な動きはないが、本市としては、施設立地にあたり地元の合意形成が大前提であると考えている。今後も地元関係者や警察署と情報交換を行い、地元の合意形成が得られた上で主催者からの協議、申し入れがあった場合は、地元住民や商店街の方々の意見も総合的に勘案し適切な判断をしていきたい。

産業振興

知って親しむ、四日市産！

リベラル21
樋口 龍馬

議員 市内で生産され、全国展開する商品も多いがこれらの周知はどのように行っているか。

商工農水部長 萬古焼などの地場産品をじばさん三重等で情報発信するとともに、各種イベントでPRを行っている。また、昨年度、情報発信のため地場産品ハンドブックを作成した。

議員 代表的な地場産品はもとより、シュークリームやごま油、顆粒だし、マヨネーズ、そして、さまざまなOEM商品（※）についても周知を行うべきである。四日市産であると認識することが、市民の四日市に対する誇りの醸成にもつながると考える。例えば、四日市産の商品を市民の手元に届けるために、商工会議所等に協力を求め、市内で最終商品として出荷をし

※ 製造を発注した相手先のメーカーで販売する商品

ている商品を市で調査、把握し、事業者から申請された商品を四日市産と認定した上、市が販促品を準備し、小売店に特設コーナーを設けてもらうような仕組みを作ることはできないか。

商工農水部長 市民に商品が四日市産であることを認識してもらうことは非常に重要であるとする。今後、四日市産商品の調査方法や効果的な情報発信について研究をしたい。

議員 市が市内にある事業所を応援する体制を築き、事業が安定的に継続できるような仕組みを作ることで、新たな企業誘致も生まれると考える。また、市内の商業動向、工業動向をまとめた冊子を作成し、市外へ発信することも必要と考える。今後の取り組みに期待する。

障害者雇用

障害者雇用のさらなる促進を求める

日本共産党
豊田 祥司

議員 障害者が、ごく普通に地域で暮らし、地域の一員として共に生活できる社会を実現するためには、職業による自立を進めることが重要であり、企業、雇用者が負う社会的責任だと考えるが、本市における取り組みはどうか。

総務部長 職員採用において身体障害者枠を設けて毎年採用募集を行ってきており、平成26年度からは、身体障害者、知的障害者、精神障害者の3区分において、障害特性に応じた柔軟な就労が可能な嘱託職員の採用も開始している。

議員 障害のある方の、一般企業への就労推進の取り組みはどうか。

健康福祉部長 事業所やハローワーク等関係機関とさらなる連携を図りながら、効果的な就

労支援サービスの実施に取り組んでいきたい。

議員 障害者雇用促進法で義務付けられている法定雇用率が未達成である市内企業への対策はどのように行っているのか。また、研修や講習、企業訪問を行い障害者雇用に関する意識改革を進めるべきであると考えているがどうか。

商工農水部長 就労コーディネーターによる企業訪問を実施し、障害者を雇用することへの理解や事業主の責任について啓発を行っている。今後も、さまざまな事業を総合的に取り組みながら、障害者雇用の推進に努めていきたい。

議員 社会的義務として法定雇用率は定められている。未達成企業ゼロを目指し、誰もが働きやすい街づくりの推進を強く要望する。

防災対策

あらゆる視点を持ち市民を災害から守れ



リベラル21
竹野 兼主

議員 四日市市津波避難マップは、津波避難のソフト対策として大きな効果が得られるものだが、液状化対策の視点が抜けていると考える。歴史的にみても昭和東南海地震では、高砂町などの埋立地や河川周辺の砂地の地域で液状化による被害があったという資料がある。液状化の可能性を市民に周知すべきと考えるがどうか。

危機管理監 液状化も含め、地域に想定される危険を市民に周知し災害時に迅速な避難行動をとってもらうことは重要と考える。液状化危険度分布図は、本市ホームページの防災情報で確認することができ、家族防災手帳にも液状化の記載があるが、今後さらに出前講座等で紹介し市民への広報、啓発を進めていく。

議員 楠地区の海岸堤防は伊勢湾台風以前に建設され、老朽化が他の地区より進んでいることは否めない。磯津漁港と楠漁港の海岸堤防の現状と今後の調査等についての対応はどうか。

商工農水部長 平成16年度より国の補助事業により磯津地区海岸堤防耐震化事業を実施して

いるが、海岸堤防の耐震化対策事業には多額の費用を要するうえ、近年は国の補助金確保が困難なため平成25年度以降事業が進捗していない。まずは、補助事業に必要な長寿命化計画を策定し老朽化対策を順次進めるとともに、耐震化事業についても国への補助要望を続けていく。

議員 市民の安全を守るため、必要な財源を確保し整備を進めていくことを強く望む。



海岸堤防の老朽化対策が望まれる（楠漁港）

点字ブロック

安心して移動できる環境づくりを推進せよ



政友クラブ
笹岡秀太郎

議員 誰もが安全で安心して社会活動に参加できる社会づくりが推進され、国土交通省の道路の移動等円滑化整備ガイドライン（以下、ガイドライン）等に基づいて本市の施設も整備されている。しかし、市庁舎や文化会館、健康増進センター、四日市ドームなどでは、整備された年代が古いために利用者が危険を感じる事例や、管理が不十分な事例がある。本市として統一した規格の整備が必要だと考えるがどうか。

財政経営部長 現行の基準だけでなく従前の基準にも適合していない部分もあるため、国のガイドライン等を踏まえたうえで、障害者団体などの方々の考えも聞きながら、早急に改善に取り組んでいきたい。

議員 東阿倉川の歩道では、歩道上の誘導ブロックに草が覆いかぶさり、点字ブロックの用をなしていない。安全に市内を移動できる空間を担保するのは行政の責任ではないのか。

都市整備部長 これまでは年2回の草刈りで対応していたが、今後は、路肩法面から歩道へ

草が生い茂らない対応を検討するなど、弱者に優しい視点を持って維持管理に努めていきたい。

議員 点字ブロックの設置のコンセプトを明確にして各部局に周知徹底させ、維持管理を行っていく司令塔が必要だと考えるがどうか。

市長 国のガイドライン等に即した、統一的なものになるように、全庁的な検討の場を設け、計画的に、スピード感を持って対応したい。



点字ブロックの適切な維持管理が求められる

子ども医療費

子ども医療費の窓口無料化を早急に実現せよ

日本共産党
太田 紀子

議員 本市では、子ども医療費が中学校卒業まで無料となっているが、償還払い方式となっており、窓口無料化とはなっていない。子育て世代から窓口無料化を求める声は多く、全国的に見ても、41都道府県の自治体で実施されている。過去の一般質問では、無料化に伴い国民健康保険の国庫負担金が減額されることや、子ども医療費だけでなく、一人親家庭や障害者医療費の福祉医療費助成制度全体で広域的に取り組む必要があるなどの理由から、県内他市町と連携しながら調査研究を行うとの答弁がなされている。しかし先日、鈴鹿市が来年度から県内初の窓口無料化に踏み切ると表明した。本市も早急に独自で窓口無料化を行うべきではないか。

こども未来部長 福祉医療費助成制度は県内全医療機関の協力を得て実施していることから、広域調整を行い、子ども・一人親家庭・障害者医療費を県下一斉に窓口無料化することが望ましいと考えるが、鈴鹿市が3歳の誕生日を迎えた年度末までの乳幼児を対象に窓口無料化を開始するため、県下一斉の実施は困難となった。本市は、子ども医療費の対象拡大に優先的に取り組み、実現してきたが、子育て世代から窓口無料化を望む声は多く、子どもの疾病の早期受診・治療につながることも認識しているため、現在国で検討している国庫負担金の減額調整措置の見直し結果を見極め、医療費全体の増加による財政負担等も考慮した上で検討を進めたい。

防 災

防災力を高めるまちづくりを進めよ

公明党
山口 智也

議員 全国的に道路の陥没事故が発生している。本市は、平成26年に市内の一部道路について、空洞化のサンプル調査を行っているが今後の方針はどうか。また、防災・減災に資する取り組みでもあるため、第3次推進計画に位置付け市内全域を調査すべきと考えるがどうか。

都市整備部長 今年度は、中心市街地や周辺道路の調査を行う予定であり、今後も中心市街地や緊急輸送道路を優先的に順次調査を行っていく。市内の道路には傷みの激しい箇所があり、第3次推進計画では保全事業に重点をおいている。今後は、国の補助を受けながら長寿命化計画保全事業を推進する中で対応していきたい。

議員 国は、歩道の安全性・快適性の確保や

良好な景観、さらに都市災害の防止の目的で無電柱化を推進している。大規模な地震が発生した際、倒壊した電柱が緊急車両の妨げになることは、人命に関わる問題であると考え。本市における取り組みや課題、今後の方針はどうか。

都市整備部長 無電柱化はコストが非常に高く、関係機関との調整に時間を要するなどの課題があるが、防災・減災の観点から重要視されていることも踏まえ、引き続き緊急輸送道路となる国道、県道の各道路管理者へ無電柱化を働きかけていきたい。また、低コスト化を図った新技術についても注視し、対応を検討していく。

議員 防災に強いまちにしていこうというビジョンをもち、着実に進めていくよう強く望む。

防 災

避難所運営を適切に行うために必要なことは何か

公明党
荒木 美幸

議員 本市では男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の手引き（以下、手引き）を策定し、避難所運営マニュアルの副本としているが、重要なのは、マニュアルをいかにして災害時に実効が上がるものにしていくかだと考える。今後、手引きをどのように各地域の避難所運営マニュアルに反映させていくのか。

危機管理監 手引きを副本として位置付けるだけでなく、実践訓練を行うことが必要だとの認識のもと今後各地区に働きかけていきたい。

議員 熊本地震では、職員が初動期の避難所運営に深く関わり避難所に詰めてしまったことで、罹災証明の発行や国や県との連携、支援の受け入れなど災害復旧に重大な影響を及ぼした。

災害発生時の職員の動きを再度点検し、住民の安全確保のために、適切な初動対応ができるよう日ごろから意識を深め、市民に不安を与えない行動が求められると考えるがどうか。

危機管理監 指定避難所の開設および運営支援にあたる職員は、地区で実施される防災訓練に参加するなど、地域の人と顔の見える関係となるよう進めている。また、職員は避難所の運営に開設から積極的に関わるが、自治会や地域での組織の運営が安定した段階で引き揚げ、罹災証明の発行などの役割を果たしていきたい。

議員 市民と行政の役割を訓練の中で明確にしていくことは、非常に重要である。さらなる取り組みの強化を要望する。

介 護

仕事と介護の両立支援を推進せよ



公明党
中川 雅晶

議員 介護離職を防止し、仕事と介護の両立を可能にするため、法改正や制度の創設が進められている。仕事と介護を両立するためには、働く人が介護を自分で担えるよう支援するのではなく、要介護者の家族が仕事を継続でき、要介護者も必要な介護保険サービスが受けられるような必要な情報を提供するシステムの構築が求められる。しかし、介護保険制度に関する情報が必要な年齢層に対し、十分な情報提供がなされているとは言い難い。本市の見解はどうか。

健康福祉部長 65歳以上の方には資格取得の際、介護保険被保険者証（以下、保険証）と説明冊子が送付されるが、40歳から64歳までの方は、保険料を払っているものの、保険証はなく、

介護保険へ加入している認識が薄い。早い段階からの制度の周知を行う必要があると考える。

議員 職場における支援制度の活用も重要なため、介護保険サービスを担う地域包括支援センター等が企業に積極的に協力する必要がある。仕事と介護の両立が可能なケアプランを策定できるケアマネジャーの育成を行うべきである。

健康福祉部長 地域包括支援センター等に対し、仕事と介護が両立できるケアプランが策定できるよう、国の各種施策や相談窓口に関する情報の提供などを行っていきたい。

議員 介護保険の保険者である市が、企業や国との連携強化を図り、仕事と介護の両立支援の推進役を担うよう強く要望する。

防 災

関係機関との連携を強化し大規模災害に備えよ



政友クラブ
森 康哲

議員 田中市長は就任以来、市民の命を守る数多くの施策に取り組み強化充実を図ってきた。現在、消防力のさらなる強化を目指した南部・北部地域への消防分署、拠点防災倉庫の整備や内陸中心部への総合防災拠点の整備を進めている。今後もより一層の充実を図り、安全・安心・まちづくりを実現する必要があると考えるが、新消防分署の整備状況と効果はどうか。

消防長 （仮称）南部消防分署は平成29年4月から運用を開始する予定であり、（仮称）北部消防分署は平成30年3月に完成予定である。新消防分署の整備により、現場到着時間の短縮など、周辺地域に大きな効果があると考え。津波など沿岸部での災害発生時に、バックアップ

ポイントとしての機能も発揮できると考えている。

議員 新消防分署と拠点防災倉庫の連携はどうか。また、北部拠点防災倉庫と三重県北勢広域防災拠点との連携はどうか。

危機管理監 拠点防災倉庫は新消防分署に併設、近接して整備することにより、消防分署と連携して緊急時の初動態勢に遅れが生じないようにするものである。また、市北部拠点防災倉庫と県北勢広域防災拠点は隣接していることから、十分連携できるよう県から県内市町への救援物資供給計画策定の中で協議したい。

議員 今後は県や自衛隊との連携強化がこれまで以上に大切となると考える、さらなる強化を目指して取り組むことを望む。

災害対策

人間の尊厳を最後まで守る災害対策を



政友クラブ
伊藤 嗣也

議員 災害対策を語る上でご遺体の取り扱いを避けて通ることはできない。不幸にも亡くなった方の尊い命に対して、人間の尊厳を守り大切に扱う体制や心構えが必要である。東日本大震災から5年が経つが、本市は、ご遺体の検視・検案場所（以下、場所）も未定である。静岡県三島市では、場所を決めてご遺体を取り扱う訓練を行っている。本市は、発災後に場所について警察等と協議するとしているが、災害の混乱時には難しい。事前に場所を決めて、警察や医師等との訓練を日頃から行うべきである。また、ご遺体の尊厳を守るためには、腐敗防止の薬剤を使うことも必要で、その備蓄も重要であり、その一つは本市で製造されている。ご遺

体洗浄後の水の処理やご遺体保存薬剤の備蓄等、遺体措置計画を早急に策定して災害に備えるべきである。現時点では、例えばご遺体を洗浄する水の確保についてどのように考えているのか。

上下水道事業管理者 ご遺体への尊厳、残された遺族感情の点から、水の確保は肝要と認識している。現在の応急給水マニュアルは、飲料水を想定しており、今後遺体安置所での水の取り扱いも応急給水マニュアルに盛り込んでいく。

議員 災害時には行政職員がご遺体を扱うことも想定されるが、市の考えはどうか。

危機管理監 市の行政職員が、人手不足から補助的な役割を担うことも考えられる。一連の流れを十分認識できるよう研修等を進めていく。

骨髄バンク

命をつなぐ骨髄バンク制度を支援せよ

政友クラブ
中村 久雄

議員 公益財団法人日本骨髄バンクの公表によると、平成26年末までの5年間で1,655名の方が骨髄移植を受けられず待機中に死亡している。ドナー登録者の拡大が必要であるが、三重県のドナー登録者は全国で35位と低い水準であり、本市の登録者率も高いとはいえない状況である。登録数を増やすための対策はどうか。

健康福祉部長 ドナー登録者を増やすため、ホームページで登録を広く呼び掛けている。また、本市の献血推進事業と併せて啓発を行い、各種団体や市内の高校生ボランティアにも積極的に参加してもらっている。平成26年度より骨髄を提供した市民とその市民を雇用している事業所の負担軽減のため奨励金も支給している。

議員 骨髄移植手術を受けた子どもたちは、すでに受けていた予防接種の効果がなくなることから、体力の回復に合わせてワクチンの再接種が必要となる。子どもたちや家族への支援として、小児時代と同様にワクチン再接種の援助制度を確立する必要があると考えるがどうか。

こども未来部長 定期予防接種としてすでに接種したワクチンを再接種する場合、接種費用は全額自己負担となる。予防接種は、本人の感染予防だけでなく周囲への感染症流行阻止の観点からも非常に重要である。骨髄移植手術により再接種が必要な18歳以下の子どもたちへの公費助成については、家族の経済的および精神的負担軽減を図るため早期に実施していきたい。

シティプロモーション

四日市ブランドを確立し効果的な魅力発信を行え

新風創志会
石川 善己

議員 シティプロモーションの考え方には、地域再生、観光振興などがあるが、定住人口の増加が最大の目標だと考える。本市と他市との差別化・区別化としての地域ブランドの考え方も、その中では必要であると思うが、他市との比較の中で本市の特徴は何なのか、これからどのようなイメージを構築していくのか。

商工農水部長 市の新たなイメージ作りが必要だと考えており、本市独自の魅力や強みを市内外へ広く効果的に発信していくため、シティプロモーションのキャッチコピーを募集したところ、バランスの良さを本市の魅力や強みとして感じている人が多いことがわかった。現段階であえて一つのシンボリックな要素を前面に打ち

出すのではなく、総合力とバランスの良さをアピールすることが四日市らしいと考えている。

議員 福山市や大垣市に本社のある運送会社のトラックが、市のPRのステッカーを付けて走っている。本市でも、東北地方へ支援物資を運んでいるトラックが、こにゅうどうくんのステッカーを付けている例があるが、本市の魅力を全国に発信してもらおうよう、市内に本社のある企業、団体に依頼すべきだと考えるがどうか。

商工農水部長 福山市や大垣市のような取り組みについては、今後、関係企業の理解を得られれば、お願いしていきたいと考えている。

議員 何を狙うのかしっかりと軸足を定めて、本市のPRに取り組んでいくことを要望する。

保 育

本市の保育の現場を問う

新風創志会
平野 貴之

議員 日本の将来を担う子供たちを健やかに育成するには、就学前に良質な保育を提供することが重要である。子供たちと一緒に過ごす時間の長い保育士が、質の高い保育を実現できるような環境を整えることが、明るい街の実現につながる。しかし、保育の現場は厳しい労働環境にあると言われている。本市の公立保育園についても、報告では月平均の残業時間は数時間と少ないが、実際にはなかなか定時には終われずサービス残業もあると聞く。市の認識と現場の実態にずれがあると思うが、どうか。

こども未来部長 平成24年度に職員労働組合から時間外勤務が報告しづらいとの申し出があり、毎月開催している園長会において必要な時

間外労働は、適正に届け出るよう指導し、適切な労務管理を繰り返し確認している。今後も園長に指導するとともに、保育士にも適正な届け出を行うよう研修等を通じて指導していく。

議員 保育士における臨時職員の割合は50%を超えているが、現状臨時職員の待遇が低い。政府が進める働き方改革の中で同一労働同一賃金はその柱になっており、待遇を改善する必要があると考えるが、具体的な取り組みはどうか。

こども未来部長 正規職員と臨時職員は、職務や職責に違いがあるが、これまで臨時職員を含めた働きやすい職場環境の構築に努めてきた。今年度は、他の職種に比べて賃金単価を大幅に引き上げるなど重点的に改善を行った。

スポーツ

スポーツイベントを通して全国に本市を発信せよ



新風創志会
三木 隆

議員 平成30年度開催の全国高等学校総合体育大会（以下、高校総体）は、本市ではサッカー男子、硬式テニスが開催される予定と聞くが情報量が少なく、市民の認知度も低いと感じる。高校総体について、地元の関係団体等との調整状況はどのようなになっているのか。

教育長 来年度には、市民や三重県及び四日市のサッカー協会やテニス協会、その他各種関係団体、行政の協働による平成30年度全国高等学校総合体育大会四日市市実行委員会（以下、実行委員会）を設立し、実行委員会の中に各種専門部会を設け本格的に準備を進めていきたい。

議員 中央緑地と霞ヶ浦緑地は、国体施設整備の関係で駐車場が制限されるため、公共交通機関の利用促進を強力に進める必要がある。全国からの来訪者のため、中央緑地は、最寄り駅からの誘導ルートの明示や「日永駅」を「日永駅（中央緑地前）」へ変更、霞ヶ浦緑地は、シャトルバス等の検討が必要と考える。また、選手や指導者等の宿泊場所はどうか。

教育長 実行委員会に設置する専門部会において、徒歩ルートのご案内等を含めた協議を行い、開催期間中に来訪される方々や近隣住民の方々に極力迷惑がからないような交通アクセスを検討する。また、宿泊場所については、旅行業をはじめ宿泊業等の事業者にも専門部会に参画いただき、協議していきたい。

議員 最善の方策を早急に行うしてほしい。



全国高等学校総合体育大会が三重県を中心に開催される

地域活動

地域で汗を流す人の為に



新風創志会
諸岡 覚

議員 地域のなかには、自治会や老人会、婦人会など多くの団体があり、川の掃除や草刈り、子供の見守り活動など、地域に対してさまざまな奉仕活動をしている。防犯パトロール隊など、何かを行うために特化した団体に対しては補助制度があるが、自治会等の地縁団体の行う奉仕活動へは補助制度が無いのが現状である。地域のために一生懸命頑張っている方々に対して、新たに補助制度を設けたり、賞状や感謝状を出したり、ケーブルテレビや広報で取り上げて紹介したりすることはできないのか。地域で頑張っている方々に、敬意を表していくという施策が必要であると思うがどうか。

市民文化部長 地域で、道路や公園等での自発的な清掃や児童生徒の登下校時の見守り活動などをしている方々は、身近な、限られた範囲内での活動であることから、活動の評価や功績等が広く人々に認められにくく、各種補助制度や表彰制度の対象とならない状況がある。しかし、地域のために懸命に尽力している方々に、

光を当てることは、地域に対する無償の貢献をたたえとともに、地域の支え合いや地域の絆づくりをより一層推進していく上で大切であると思う。今後は、地区広報で地域に広く紹介することや、感謝状の贈呈を行うなど、どのように顕彰していくとよいか検討していきたい。

議員 地域の中で頑張っている人たちが報われるような行政を目指すことを要望する。



地域での清掃活動の様子（桜地区）

中学校移転

朝明中学校区の教育課題を解決せよ

新風創志会
荻須 智之

議員 朝明中学校区には、朝明中学校への通学や、八郷小学校と大矢知興譲小学校の2つの学校施設における格差の課題があり、課題の解決を子どもたちと住民は熱望している。今後新生児の人口は、大矢知地区では増加が予想され、八郷小学校区では減少が予想されるために、朝明中学校の立地が人口集積地から乖離^{かいり}していき、生徒は不便さが増していく。また、大矢知興譲小学校の課題に対し校舎の増築や新たな運動場の確保で対応すべきとの意見があるが、小学校の校舎から離れた場所に運動場を整備するので、教育活動に支障が生じることになる。朝明中学校の移転は無駄遣いではなく必要な事業であり、解決すべきは子どもたちの教育課題であ

ると考えるが、教育委員会の見解はどうか。

副教育長 平成26年度から平成27年度に教育環境課題調査検討事業を実施し、大矢知地区だけでなく八郷地区も含めた朝明中学校区全体における教育環境課題を解決するための方策として朝明中学校の移転建替の方向性を示し、市の方針として位置付けてきた。移転建替の手法は朝明中学校の施設課題や通学の課題、さらに大矢知興譲小学校の施設不足の課題もあわせて解決できる現実的で最善の策であると判断した。しかし、移転に反対する方々の気持ちは重く受け止めており、今後も朝明中学校区の教育環境課題の解決に向けて、地域、保護者の方々と十分な協議を行い、意見を頂戴していきたい。

待機児童

待機児童をゼロにせよ

新風創志会
谷口 周司

議員 現在、本市における地域別の待機児童数は何名か。

こども未来部長 平成28年10月1日時点の本市の待機児童数は、北部地域が66名、中部地域が37名、南部地域が39名の合計142名である。

議員 平成28年8月の子ども子育て会議の資料によると、入園待ち児童数(※)に、平成29年度の開園予定等を加味した保育提供枠の不足見込み数は、北部地域で187名、中部地域で53名、南部地域で139名となっている。対策として、さらなる保育園の新設が必要であり、特に北部地域への新設が必要と考えるが、どうか。

こども未来部長 中部地域、南部地域にそれぞれ1園ずつ、認可保育園の新設に向けて社会

※ 特定の保育園のみを希望し、他に通園可能な保育園があっても入園していない児童数を待機児童数に加えたもの

福祉法人から事前協議があり、平成30年度の開園に向けて県とも調整をしている。北部地域においても新設が必要であると認識しており、平成31年度の開園に向けて、複数の社会福祉法人から相談を受けており、このまま順調に開園となれば、待機児童は解消される見込みである。

議員 国土交通省が待機児童対策として、現在は国家戦略特区のみで認めている都市公園内の保育園設置を、全国どこにでも可能とする方針を固め、平成29年の国会に都市公園法改正案を提出するとの報道があった。北部地域における深刻な待機児童問題のため、都市公園法改正が行われたのちには、垂坂公園・羽津山緑地に保育園を設置するよう検討を行ってほしい。

資源物持ち去り

資源物持ち去り行為対策の強化を図れ

市民会議
小林 博次

議員 資源物の持ち去り行為が全国的に問題となっている。本市でも平成27年度における資源物集積場からの持ち去りが、約1,374tと推計されている。警察OBを含む市職員がパトロールを毎日行っているが、市内には約1,600カ所の資源物集積場がある。現在の体制で十分に対応できているのか。

環境部長 今年度より職員を2名増員し、2班4名体制でパトロールを行っている。また、警察や地域の協力のもと、集積場での張り込みを実施している。逃走されることもあるが、持ち去り行為者への警告書の発布につながった事例もある。市職員の職務権限では、資源物持ち去り行為発見時に行為者を制止することができ

ないため、今後も警察と連携して対応していく。

議員 現在の体制だけで全ての資源物集積場を監視することは難しいと考える。また、地域の方々が持ち去り行為者と遭遇する危険性もある。資源物集積場に監視カメラを設置し、持ち去り行為者を特定して、持ち去り行為をやめさせることが必要であると考えがどうか。

環境部長 公共の場所へ向けて新たに防犯カメラを設置する自治会に対して、一定の基準を満たせば設置費用の一部を支援する補助金制度があり、設置を希望する自治会へ案内していく。また、市民の方が持ち去り行為者との間でトラブルに巻き込まれないよう、安全を最優先に対応してもらうよう周知啓発に努めていく。

一般質問をした議員と項目

(質問順)

- 森川 慎 ◆四日市市長選挙の投票率について ◆子どもの貧困について
- 藤田 真信 ◆いじめ問題について ◆ふるさと応援寄附金について ◆不妊治療助成について ◆場外馬券売場について
- 村山 繁生 ◆文化会館の駐車場について ◆萬古焼陶祖《沼波弄山》生誕300年祭に向けて
- 樋口 龍馬 ◆知ってる人だけ??みんなが知らない四日市!??～四日市で生み出される商品たち～
- 竹野 兼主 ◆薬物乱用防止について ◆市立四日市病院経営について(新しいがん治療) ◆防災対策について(磯津・楠漁港について、液状化について)
- 豊田 祥司 ◆四日市市の障害者就労向上に向けて ◆いつになる?小・中学校、普通教室のエアコン設置 ◆本当に大丈夫?四日市市の介護総合事業
- 太田 紀子 ◆子どもの貧困対策について
- 山口 智也 ◆防災力を高めるまちづくり(要援護者の支援強化、緊急輸送道路等の安全対策、災害時の渋滞対策)
- 荒木 美幸 ◆災害発生時における避難所運営について ◆本市の救急体制と女性消防吏員の活用について
- 中川 雅晶 ◆仕事と介護の両立支援について
- 森 康哲 ◆安全な街づくりへの取り組みと今後の課題について ◆朝明中学校の移転計画について ◆学区と行政区のずれについて
- 伊藤 嗣也 ◆人間の尊厳を最後まで守る災害対策を(食:屋外・屋内での炊き出し、医:応急救護所・医薬品備蓄・道路啓開の体制、葬:ご遺体の取り扱い)
- 笹岡秀太郎 ◆「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」について(点字ブロックの設置状況を通し、安心して生活できる環境づくりの推進を問う。)
- 中村 久雄 ◆交通安全施策について ◆命をつなぐ骨髄バンク
- 石川 善己 ◆空き家対策について ◆高齢者の見守りに関して ◆シティセールスと地域ブランドについて
- 平野 貴之 ◆保育の現場はいま ◆メガソーラー事業について
- 三木 隆 ◆四日市市で開催される各種スポーツの全国大会に向けて
- 荻須 智之 ◆朝明中学校区の子供たちの教育環境改善のために
- 谷口 周司 ◆新名神高速道路の建設に伴う周辺環境の変化について(朝明新川問題、イノシシ問題) ◆待機児童問題について(垂坂公園に保育所を!)
- 諸岡 覚 ◆市民の政治を取り戻す為に(開かれた行政、低投票率) ◆地域で汗を流す人に ◆田中俊行さんとの20年を振り返って
- 小林 博次 ◆市民協働促進条例の具体化について ◆資源ゴミの持ち去りに関して ◆田中市政の8年を振り返って



平成29年度市議会モニターを公募します

四日市市議会では、議会の運営等に関し、市民からの要望・提言・その他の意見を広く聴取し、議会運営等に反映させるため、「市議会モニター制度」を実施しています。従来の地区等の推薦に加えて、より広く市内全域から議会に対するご意見をお聴きするため公募を行います。

【市議会モニターの仕事】

- (1) 本会議や委員会等を可能な限り傍聴・視聴し、意見・提言を提出する
- (2) 研修会や意見交換会に出席し、意見を述べる
- (3) 議会運営に関する意見を議長に提出する
- (4) 議長が依頼するアンケートへ回答する
- (5) その他、議長が依頼する内容について意見を提出する

【募集人数】

10人程度

【資 格】

満18歳以上の市内在住者（ただし、公務員、各議会議員、市の行政委員は除く）で、市議会の仕組み・運営や、市政・地域社会の発展に関心がある人。

【説 明 会】

平成29年4月13日（木）13時30分から総合会館7階第2研修室で、市議会モニター制度についての説明会を開催します。興味をもたれた方はぜひご参加ください。

【選考方法】

年齢・性別・居住地等に著しい偏りの生じないよう考慮します。

【任 期】

1年。ただし、再任（1回）を可としています。

【応募方法】

住所・名前（ふりがな）・性別・年齢・生年月日（※）・電話番号・FAX番号（※）・PC用メールアドレス（※）・応募理由を記入の上、持参・郵便・FAX・メールのいずれかの方法で四日市市議会事務局へお申し込みください。様式は問いませんが、必要な方は市議会ホームページ、また、各地区市民センター等に応募用紙がありますのでご利用ください。

※ 任意の記入項目

【募集期間】

平成29年4月21日（金）まで（必着）。

【委 嘱 式】

平成29年5月下旬の予定です。

【そ の 他】

特に報酬は支給しませんが、年度末に記念品をお渡ししています。

公募のほか各地区市民センターや四日市大学にも推薦を依頼しており、全体の定員は50人程度です。

2月定例月議会の議会報告会の予定

2月定例月議会の議会報告会を3月28日、29日に開催します。（詳細は下記参照）。事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

※シティ・ミーティングのテーマが決定しましたら、市議会ホームページやチラシ等でお知らせいたします。

※頂戴するご意見は、口頭によるものを基本とします。

第1部：議会報告会		第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）		
日 時	平成29年3月28日（火）		平成29年3月29日（水）	
	18：30～20：45		18：30～20：45	
常任委員会	教 育 民 生	産 業 生 活	総 務	都 市 ・ 環 境
会 場	あさけプラザ 2階第4・5会議室	橋北交流会館 3階第6会議室	総合会館 7階第1研修室	塩浜地区市民センター 2階大会議室
	下之宮町296-1	東新町26-32	諏訪町2-2	塩浜本町一丁目1-2
所 管 事 項	教育、こども、健康福祉など	商工業、農林水産業、市民文化、市立病院など	市政の企画、財務、危機管理、消防など	道路、住宅、上下水道、区画整理、環境衛生など

※ 全会場、手話通訳いたします（事前予約は不要です）。

※ 天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※ 総務常任委員会（総合会館）に参加ご希望で、お車で越しになる方は、市営中央駐車場に駐車してください。

平成28年 8 月定例月議会の議会報告会の概要

平成28年 8 月定例月議会の議会報告会を、平成28年10月 6 日、7 日の 2 日に分け、常任委員会（総務、教育民生、産業生活、都市・環境）ごとに 4 会場で開催しました。

当日は第 1 部を議会報告会、第 2 部をシティ・ミーティング（意見交換会）として実施しました。議会報告会では、議員からの 8 月定例月議会での活動報告に対して質疑をいただき、また、シティ・ミーティングでは、常任委員会ごとに決められたテーマに関して意見をいただきました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動における一般質問や委員会での審査や、今後の議会報告会の開催に当たっての参考とさせていただきます。また、概要としてまとめたものを市議会ホームページに掲載しています。

日 時	平成28年10月 6 日(木) 18：30 ～ 20：45		平成28年10月 7 日(金) 18：30 ～ 20：45	
常 任 委 員 会	総 務	都 市 ・ 環 境	教 育 民 生	産 業 生 活
会 場	常磐地区市民センター 2 階大会議室	防災教育センター 2 階防災センター	河原田小学校 1 階ランチルーム	総合会館 7 階第 1 研修室
シティ・ ミーティング テーマ	○投票率向上について	○空き家問題について	○地域と学校の連携について（防災対策やコミュニティスクール等の取り組みについて）	○地場産業・観光について
参加人数	1 5 人	2 人	1 2 人	8 人

◆会場でいただいた意見・質疑（抜粋）

議会報告会、シティ・ミーティングでは、市民の方から議会報告に関することや、シティ・ミーティングのテーマに沿って自由にご意見をいただき、意見交換を行っています。各会場での主な意見交換の内容を要約してご紹介します。

総務常任委員会

○手話通訳関係者や聴覚障害者で集まって月 1 回、防災に関する会議を行っており、情報を収集しているところである。指定避難所には、毛布・水・非常食などの備蓄は十分になされているか。

⇒委員）指定避難所には防災倉庫が設置されており、一定量の備蓄はあるが十分ではなく、物資搬送に頼る部分が多い。また、集会所等の緊急避難所は各自治会等が備蓄をしており、福祉避難所においてもある程度の備蓄がなされているものと認識している。

○本市の 4 カ所の期日前投票所は、市内東部に偏っている。増設も含め、市域にバランスよく設置すべきではないか。

⇒委員）期日前投票所が沿岸部に偏っているのは、内陸部に公の施設が少ないことが一因である。今後はハード整備も含めた検討が必要であると考えます。なお、今秋の市長選挙では、四日市大学で期日前投票所を 2 日間開設する予定である。

教育民生常任委員会

○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーは、全校に常駐しているのか。

⇒委員）スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーは、常駐が望ましいという意見が議会でも出ており、

国においても重点配置に向けた予算の拡充がなされている。しかし、現状、常駐はされていない状況であり、有資格者も少ない状況であることから、今後の課題であるとする。

- 登下校時の見守り隊が組織されている地域もあるが、そのような組織がない地域においては、子供たちは、地域住民の見守りの目がない中で下校する必要がある。子供が危険な行動をしても、地域住民に会うこともなく、声掛けをされることもない状況であるため、地域住民の意識向上を図るとともに、地域への働きかけを積極的に行う必要があると考える。
- 自治会では、災害が発生した際の学校側の対応について、ほとんど把握していない。自治会、学校間でももう少し情報共有をする必要があると感じており、地域と学校との積極的な連携について、行政が音頭をとって進めてほしい。

産業生活常任委員会

- 全国ファミリー音楽コンクールの応募者増加に向けた取り組みとして、応募者への記念品の魅力化を図ったとのことであるが、賞品に予算を投じるのではなく、知恵を絞り、応募者を増やす工夫をすべきではないのか。
⇒委員）賞金額の妥当性や本市の文化力向上への寄与については疑問を感じており、市民を対象とした音楽会に変更し、賞金を市民に広く還元し、市民の文化力を向上することが本市の文化力向上につながるのではないかと考える。本事業については議会においても様々な意見があり、5回の開催実績を総括し、議論すべきであると考えている。
- 本市は歴史的な背景もあり、おもしろいまちである。市内には興味深いスポットが数多く存在しており、市民も議員も一緒になってそれらを掘り起こしていけば、より活発なまちになっていくのではないかと。それがシティプロモーションの材料や文化の発見にもつながり、おもしろいまちづくりにもつながる。
⇒委員）いただいた意見を参考に、おもしろい四日市づくりに取り組みたい。

都市・環境常任委員会

- 現在、県外の田舎にある実家が空き家となっており、兄弟間で協議して今後どのようにしていくべきかを考えていかなければならず、テーマに興味を持ち参加した。年3回の敷地の除草や雪おろしなどを業者に委託しており、外見上はある程度管理されている状態にあるが、母屋を取り壊すことに抵抗感を持つ兄弟もあり、なかなか協議が進んでいないのが現状である。
⇒委員）これまでの行政の取り組みは、空き家所有者に対して何らかの措置をしてほしいという視点に立つものであったが、例えば、敷地の草刈りや見回りサービス等を行政から紹介してもらうようなことも、遠方に住む空き家所有者は行政に求めているのではないかと考える。
- ⇒委員）本市でも空き家対策として各種の施策を行っているが、もっと充実してほしいという意見も聞くことから、今後、本市にどのような施策が必要かを考える上でご意見をいただきたい。
- ⇒委員）空き家が多い地域ほど定住を希望する人も少ないため需給のマッチングがうまくいっておらず、全国的に同様の課題を抱えている。以前視察した他都市でも、空き家バンク等の取り組みがあまり進んでいないと感じた。
- ⇒委員）空き家を管理保全するためには固定資産税を払い続けなければならない、修繕費用はもちろん、想定外の費用もかかることもあるため、空き家の管理保全は所有者の義務であるものの、中には放置する人がいるのが現状である。

人事案件

●教育委員会委員

渡邊 悌爾（再任） 住所：小杉町

●固定資産評価審査委員会委員

向山 富雄（再任） 住所：ときわ四丁目

意見書

- ◆地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出（提出先 内閣総理大臣ほか）
- ◆ロタウイルス胃腸炎予防ワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書の提出（提出先 内閣総理大臣ほか）

四日市市自治会連合会との意見交換会

12月14日に四日市市自治会連合会と四日市市議会議員との意見交換会を開催しました。

公共交通や市政120周年をテーマとして、活発な意見交換が行われました。



市議会モニターの皆さんとの意見交換会を開催

10月25日に市議会モニターの皆さんと広報広聴委員会の委員との意見交換会を開催しました。

3グループに分かれて、「市議会を傍聴・視聴して思うこと」「市議会の広報について」「議会運営について」「議会報告会について」の四つをテーマとして、活発な意見交換が行われました。

意見交換会の概要については、市議会ホームページ（<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>）の「お知らせ」に掲載しますので、ぜひご覧ください。



議員の欠員について

森智広議員が公職選挙法第90条の規定に該当し、平成28年11月20日付けで欠員を生じたので、当市議会の議員数は33人となりました。

また、会派の構成についてリベラル21の所属議員は8人から7人になりました。

委員会の構成

議員の欠員に伴い、委員会の構成が次のとおりとなりました。

総務常任委員会（7人）【◎委員長 ○副委員長】

◎伊藤 嗣也 ○藤田 真信 笹岡秀太郎
中川 雅晶 早川 新平 日置 記平
平野 貴之

あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

広報広聴委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎川村 幸康 ○早川 新平 荒木 美幸 荻須 智之
土井 数馬 豊田 祥司 森 康哲 森川 慎

市議会文化祭を開催します

2月10日から3月24日（土・日曜日、祝日を除く）まで市役所10階のラウンジで絵画や書、陶芸などの議員創作作品の展示を行います。ぜひお越しください。

市議会フェイスブックについて

市議会では、平成28年4月からフェイスブックを開始しています。市議会が、市民の皆さんにとってより身近な存在となれるようこれからも取り組みを進めてまいります。ぜひご覧ください。

市議会フェイスブックのアドレス

<https://www.facebook.com/yokkaichishigikai/>

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

Eメールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>